



○新一万円札肖像 改めて「渋沢 栄一」のすごさを語る。Part ①

通信 1 号でも触れた渋沢栄一は、「日本資本主義の父」「実業界の父」「金融の父」とよばれるが、これは渋沢の1面だけを捉えている。約480の企業（みずほ銀行、東京海上火災、東京電力 他）の設立・運営に携わっていると同時に約600の社会事業（日本赤十字社、大学設立など）に携わり、養育院（身よりのない子供たち、病気で働けない方々を収容する病院）の院長を60年弱務めるなど若いときから慈善事業も推進してきた。それらのことが評価され、1926年 1927年にノーベル平和賞候補者にもなっている。

○第106回全国高校野球選手権宮崎大会 ひなたサンマリスタジアム宮崎で開幕



令和6年7月6日(土)ひなたサンマリスタジアム宮崎において第106回全国高校野球選手権宮崎大会が開幕した。甲子園への切符をつかむのはどのチームなのか。球児たちの熱い夏が始まった。本校野球部の初戦は、7月11日(木)ひなたサンマリスタジアム宮崎球場で二試合目、対戦相手は宮崎北高校です。「みんなが応援しています。

限界突破で全力を出し切って欲しい。がんばれ！」

○トコトン!ボーイ、トコトン!ガール みーつけた。(挑戦することを決めた生徒を紹介します)

3年生 I.Yさん 「第47回まつり延岡実行委員7/20(土)」としての挑戦



I.Yさんが今年挑戦していることは、「第47回まつり延岡実行委員」として、地域の方々と一緒に祭りを成功させることです。小学生の頃から、父が神輿担ぎに参加しており、I.Yさんも自然に参加していました。県外へ進学予定なので、今年が「まつり延岡」に参加するのは最後で、みんなと一緒に祭りを盛り上げ、延岡市を元気にしたいと考えていたところ、知り合いから「まつり延岡」の実行委員に誘われました。実行委員は50人程で高校生は一人でした。週2回夕方19:00～市民協働まちづくりセンターで今年の祭りの内容を協議してきました。最大の見せ場は、今山八幡宮から4基の神輿が、春日神社から3基の神輿が各神社を出発して町中を練り歩き、中央通りで出会う、「出会い神輿」です。I.Yさんが提案したのは、神事の際、「出会い神輿」はそれぞれの親神輿だけを担ぎ上げることにしていますが、「7基全て担ぎ上げたら、さらに盛り上がるのでは」と提案したそうです。7月13日(土)事前準備のためのボランティアが必要で文書を作成し、本校生徒に募ったところ約50名が集まり、本校生徒が「まつり延岡」を裏側から支えます。47



年前から続く、延岡市の夏の風物詩である「まつり延岡」は7月20日(土)に開催されます。I.Yさんは、将来、葬儀社を起業し、人の悲しみに寄り添える仕事がしたいと考え、県外で学ぶことを決めました。いつか必ず延岡市に戻り、「まつり延岡」の実行委員としてさらに盛り上げたいと語り、心に秘めた強い意志を感じました。